

ご意見いただきたい内容:効果的な地域支援ネットワークの再構築について

1. 令和5年度の取組み

令和5年度研修実施の圏域(中河内・泉州)

○研修日時や場所等については下記の通り。

①中河内(1)令和5年9月7日(木)18時半～20時 八尾プリズムホール・レセプションホール

(参加者) 65名

(参加機関等) 医療機関、福祉事業所(生活介護、就B、相談支援事業所等)、行政機関、社協等

(研修内容) 病院から事業所に繋がった連携例の報告及び名刺交換会

(アンケートでの主な意見)

・復職支援が必要なことをよく考えることができた。縦・横のつながりを意識していきたい等

(2)令和6年3月7日(木)14時半～16時半 くすのきプラザ・多目的ホール

(参加者) 40名

(参加機関等) 医療機関、福祉事業所(就労移行支援、就B、相談支援事業所等)、行政機関、大学等

(研修内容) 連携例をもとにした事例検討及び名刺交換会(予定)

(アンケートでの主な意見)

・関係機関のネットワークが大切だと思った、多機関でかかわり役割分担もしているが、感情的にこられると、どう対応しようと悩むことも多い等

②泉州:令和5年11月14日(火)14時～17時 浪切ホール・特別会議室

(参加者) 93名

(参加機関等)医療機関、福祉事業所(就B、自立訓練、相談支援事業所等)、当事者家族、行政機関

(研修内容) 医師による基礎講座及びグループワーク(事例検討)、名刺交換会

(アンケートでの主な意見)

・当事者の意見も聞けてよかった、情報が少なく、ネットワークを知らなかった等

○今後とも、中河内圏域及び泉州圏域について、自立的・自主的な圏域ネットワークの維持・拡充をしていけるよう、府として積極的に関わりを持ち、後方支援を行っていく予定

○また、圏域内市町村に対しては、上記研修の結果をフィードバックするとともに、引き続き圏域ネットワークの円滑な運営ができるよう協力を依頼

ご意見いただきたい内容:効果的な地域支援ネットワークの再構築について

2. 令和6年度の取組みの方向性

令和6年度研修実施の圏域(北河内・三島)

・北河内・三島の2圏域では、下記の構成で圏域事務局を立上げ予定。(固定ではなく、適宜参加者増を検討)

【北河内】

・事務局メンバー:

医療機関、福祉事業所(就B)、介護老人保健施設、家族会、大学、市社会福祉協議会、市障害者生活支援センター
・北河内圏域に於いては、令和6年2月26日(月)に事務局の顔合わせを実施

【三島】

・事務局メンバー:医療機関、福祉事業所(就B)、市障害者職業能力開発センター、相談支援事業所、基幹相談支援センター
・三島圏域については、令和6年4月以降に事務局の顔合わせを実施予定

・併せて、圏域内の全市町村に、圏域の再構築や研修実施にかかる協力依頼を実施

○令和6年度は、上記2圏域について、研修実施をきっかけとして地域支援ネットワークの再構築を目指す。

泉州圏域及び中河内圏域については、ネットワークが存続していたが、北河内圏域及び三島圏域については一から再構築していくこととなるため、府として積極的にアプローチや後方支援を行っていく。

泉州圏域 高次脳機能障がい支援ネットワーク

【作業部会】

泉州北（和泉、泉大津、高石、忠岡）

府中病院、泉州北障害者就業・生活支援センター

泉州中（岸和田、貝塚）

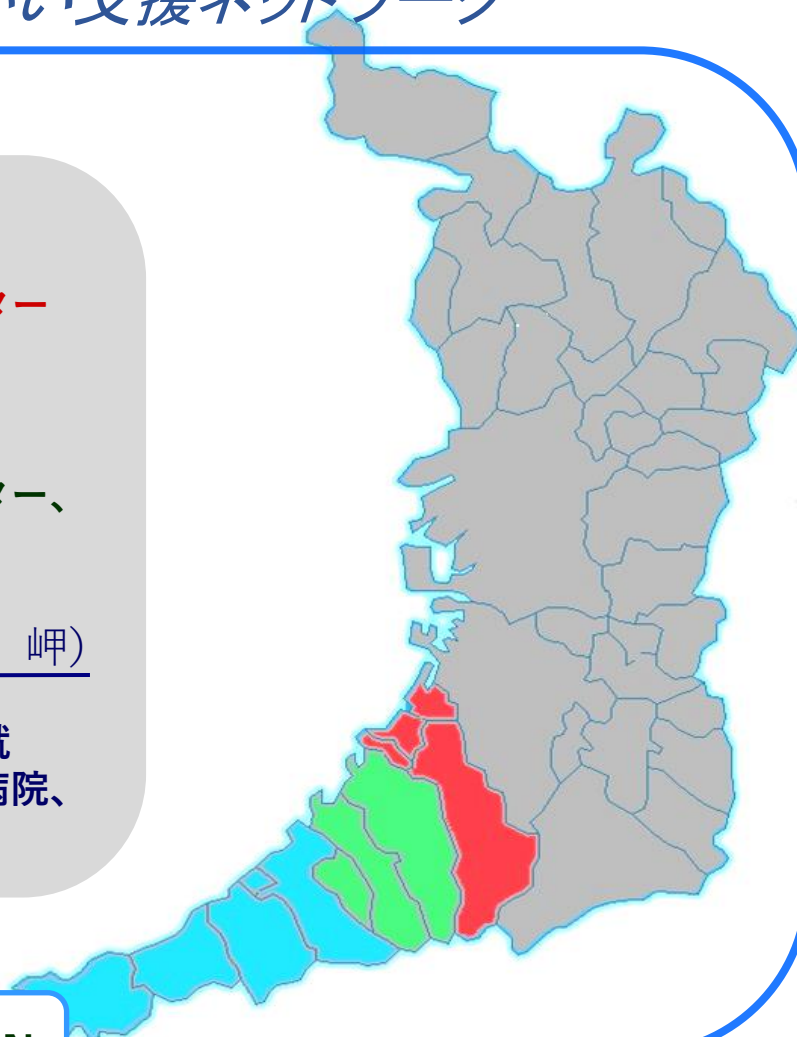
葛城病院、泉州中障害者就業・生活支援センター、
地域活動支援センター かけはし

泉州南（泉佐野、熊取、田尻、泉南、阪南、岬）

大阪リハビリテーション病院、泉州南障害者就
業・生活支援センター、七山病院、阪南市民病院、
基幹包括支援センターいずみさの

【関連施設】 福祉サービス事業所、行政

泉州中：S・K・N



泉州圏域高次脳機能障害支援ネットワーク会議

H25.11	高次脳機能障害の基礎知識 職業センターにおける高次脳機能障害者に対する支援の実際	49名
H26. 2	泉州圏域高次脳機能障害支援ネットワークの概要説明 高次脳機能障害者の理解と就労支援	149名
H26. 9	当事者の立場から提言 高次脳機能障がい者に対する精神科的対応について	129名
H27. 2	高次脳機能障がいの症状概観について 高次脳機能障がい支援の関係機関による連携についての検討会	61名
H27.11	高次脳機能障害～感情コントロール障害に対する対応～ 事例報告	138名
H28. 3	高次脳機能障害の人を理解する為に 障害福祉サービスについての概要	59名
H28. 10	わかりやすい脳の障害の話 当事者からの提言	74名
H29. 2	障害福祉サービスに関する基礎知識 事例報告及びグループワーク	63名
H29.10	わかりやすい脳の障害の話 当事者からのお話し	114名
H30. 3	事例検討会	65名

2023年11月14日

泉州圏域高次脳機能障害支援ネットワーク研修会

- 14:05 講演 「わかりやすい？脳の障害の話」
- 14:50 事例報告 多職種間で行なわれている支援内容
就ポツ・B型・病院での対応と連携
- 15:20 グループワーク
- 16:10 グループ発表
- 16:30 まとめ

事例の脳機能を
メインに

現在、支援で難渋し
ている事例

同じ地域のグループ
症状一覧表を使用

名刺交換・情報交換・自由

17:00 閉館

研修会の振り返り

作業部会：20名

七山病院、大阪リハビリテーション病院、葛城病院、阪南市民病院、府中病院
障害者就業・生活支援センター（北・中・南）
基幹包括支援センターいずみさの
大阪府、岸和田市、貝塚市

事例の読み込み、質問、支援の可能性を共有
⇒共有はやはり難しい

参加者：71名

B型、社協、ケアマネ、当事者
⇒相談支援員の参加が皆無。企業への広報はまだ。

泉州圏域高次脳機能障害 支援ネットワーク 資源マップ



マップで知ろう! 地域の”底力“

就労継続支援B型事業所一覧

9	社会福祉法人かけはし オーロラ	大阪府岸和田市堺町 3-10 TEL 072-423-7819 FAX 072-423-7819
10	きのすら	大阪府高石市羽衣 5-9-3 メゾン伽羅橋 1 階 TEL 072-320-7749 FAX 072-320-7749
11	マジックブルーム	大阪府阪南市下出289 TEL 072-470-1811 FAX 072-470-1822
12	ワークセンター ホス	大阪府泉南市男里 2-177- 2 TEL 072-474-7430 FAX 072-477-6816

※詳細は番号のページにあります。施設によっては就労移行支援事業所も兼務しています。

<p>9 社会福祉法人かけはし オーロラ</p>  <p>利用定員 14名 平均工費 10,490円/月 (平成29年度)</p> <p>訓練内容(作業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 弁当の調理・清掃 • その他弁当調理に付随する様々な仕事 • ポリフ(自主製品)の製作・印刷業務 <p>アピールポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通所の回数や時間は相談で決めていきます。最初は週2,3日から。 • 作業の種類が豊富であり、個人の体調や症状、能力に応じて作業の選択をする事が出来る。 <p>通所の方法</p> <p>送迎:無し。 現在の利用者の主な通所方法は自転車にて通所の方が多いです。その他電車及び徒歩で来所されています。</p> <p>見学等のご相談</p> <p>事前にお電話での予約となります。ご家族や支援者の同行が必要になる事がありますので、まずはお電話にて相談下さい。</p> <p>施設からのメッセージ</p> <p>その方にとって今何が課題となっているのかを話し合いや作業過程から掘り、明確にしてから支援の方向性を共に決めていきます。</p>	<p>大阪府岸和田市堺町 3-10 TEL 072-423-7819 FAX 072-423-7819</p> <p>1日の流れ</p> <table border="1"> <tr><td>09:00</td><td>リラクスタイム (作業車でのついで車(6時間))</td></tr> <tr><td>10:00</td><td>作業開始</td></tr> <tr><td>11:00</td><td>作業</td></tr> <tr><td>12:00</td><td>昼食・休憩 (自治29年制(週1回))</td></tr> <tr><td>13:00</td><td>作業</td></tr> <tr><td>14:00</td><td>作業</td></tr> <tr><td>15:00</td><td>作業</td></tr> <tr><td>16:00</td><td>休憩</td></tr> <tr><td>17:00</td><td>↑※個人によって作業 時間は異なります。</td></tr> </table> <p>昼食について</p> <p>持参、住出し弁当、 その他(オーロラで作る手作りの昼食250円)。</p> <p>服装について</p> <p>基本的に自由です。</p> <p>MAP 南海本線 南海岸和田駅より徒歩約13分。 オーロラに駐車場はありません。 徒歩3分の所に市役所駐車場があります。</p> 	09:00	リラクスタイム (作業車でのついで車(6時間))	10:00	作業開始	11:00	作業	12:00	昼食・休憩 (自治29年制(週1回))	13:00	作業	14:00	作業	15:00	作業	16:00	休憩	17:00	↑※個人によって作業 時間は異なります。
09:00	リラクスタイム (作業車でのついで車(6時間))																		
10:00	作業開始																		
11:00	作業																		
12:00	昼食・休憩 (自治29年制(週1回))																		
13:00	作業																		
14:00	作業																		
15:00	作業																		
16:00	休憩																		
17:00	↑※個人によって作業 時間は異なります。																		

症状一覧表 家族様 チェック用 A4用紙

NO	症状	有・無
1	あくびばかり出る	ある・ない
2	すぐに眠くなる	ある・ない
3	周囲に対する反応が少ない	ある・ない
4	必要な事に対する反応が遅い	ある・ない
110	話を自分の都合のいいように解釈する	ある・ない
111	車の運転は危険と言われても、自分はできると思っている	ある・ない
112	自分の能力に限界があるため、自分らしくいきられないと思っている	ある・ない
113	自分には以前のような価値はないと思っている	ある・ない

症状

対応へのヒント

障害名

No	症状
1	あくびばかり出る。
2	すぐに眠くなる。
3	周囲に対する反応が少ない。
4	必要なことに対する反応が遅い。
5	動きや反応が鈍く、スローモーションである。
6	長い時間座っていることができない。
7	すぐに疲労感を訴える。
8	何もしたがらず、自発的な行動がみられない。
9	することがないと横になりたがる。
10	考えや言葉が浮かばず、表情がかたい。
11	他人に興味がなく、話を広げられない。
12	疲れたり飽きたり仕事を続けられない。
13	少しでも難しいと思うとやる気がなくなる。
14	自分でできることなのに依存してくる。
15	自分がしたいことは周りの人にお構いなしに行動する。
16	泣いたり叫んだり笑ったりすることをコントロールできない。
17	いつもイライラしており、精神的に不安定である。
18	待たされたり些細なことで怒り出し、暴力や暴言が多い。
19	気分により行動が影響される。
20	気持ちが落ち込むと、そこから抜け出せない。
21	抑えるべき欲求をコントロールできない。
22	何事も待てず考えずに行動してしまう。
23	周りを気にせずに行動や発言をしてしまう。
24	金銭管理しながらの買い物に困難。
25	こだわりが強く妥協できない。
26	いったん思い込むとなかなか修正できない。
27	気になることがあると繰り返し行う。
28	物の配置や収納場所を過剰に一定にしたがる。
29	マナー違反を注意せずにはいられず、人を許すことができない。
30	日中すべきことがわからない。
31	時間の管理が困難である。
32	昼夜が逆転する(意欲・発動性低下による)。

対応へのヒント
<p>・体力・持久力を高める必要がある。定期的に適切な運動を心がける</p> <p>・ベッドを起こし視野を広くする。・手足をマッサージする。</p> <p>・姿勢を正して、深呼吸やストレッチなどをとする。</p> <p>・疲れたら休む。</p> <p>・周囲の人が疲労の存在に気づいていること、また、</p>
<p>・本人がすべき活動を開始できるように、きっかけを周囲が与えてあげる。</p> <p>・すべきことのチェックリストを作成する。チェックリストを実際に使う練習をする。 ・本人と話し、毎日のスケジュールを決める。やれそうな課題から順番に提示する。得点や報酬(褒美)を設定し与えることも有効。</p>
<p>・同じ年齢の人だったらどう思う?と尋ね、自分で考えてもらうなど、大人(親)らしい振る舞いをできるように繰り返し促す。「～らしさ」を教えることが重要。</p> <p>・発動性が低下していれば、活動するきっかけ、手がかりを出してあげる。一緒に考え、それができるようにすれば、方向性を示し、自分で考えさせ、さらに一通り考えさせてから相談する、など段階を踏った取り組みが必要。</p>
<p>・コントロール困難を自覚し、反省する気持ちが芽生えるように訓練する。 例: ・原因となる場所から離れる。・気分を切り替えるためのきっかけ(別の楽しいテーマ:好きな物、人)を覚えて気持ちを切り替える。・周囲が対応を調節する(本人と一緒に約束事を考えて、具体的に残す。トラブルを起こした後は謝るなど。 ・落ち着いてから理解できるように説明し、振り返りながらとるべき行動を教える。</p>
<p>・場所を変えて気分を変える。困難なら精神科の対応を受ける。 ・怒りの対象となっている事象(相手)から遠ざけ、気持ちがクールダウンするのを待つ。 ・注意がその事象に向かないようにする気晴らしのアイテムを工夫しておき、活用する。 ・気分が悪くなる環境は回避する。</p>
<p>他者からのアドバイスが必要。回数など制限する必要があるれば前もって決めておく。</p> <p>・問題行動が起こる原因を調べ、軽減できるような環境調整を行う。 ・その行動が駄目な理由を具体的に伝える。その場でのフィードバックが大切。反省ノートで振り返る癖をつけることも重要。</p> <p>・動作の前に必ず1秒待つ。周囲は無理に抑制したり、叱ったりしない。 ・行動する前に人に聞くようにし、すべて自分で解決しようとする。</p> <p>・生活の中で役割を作り、予定を入れる。一緒に本人が納得したルールを決めておく。社会人としてのマナーを提示し、守るように促す。悪い行動には具体的指示を出す。</p>
<p>・自由に使える金額を決め、それを超えると返品するとルール化する。</p> <p>・こだわりによるデメリットを具体的に伝える。</p> <p>本人との妥協点を探り、予めルールを決めておく。</p>
<p>・回数や時間を短縮する必要があることを決めておく、合図を出す。 ・専門の医療機関に相談する。</p>
<p>・こだわりの内容を棚上げする必要があることを説明しておく。</p> <p>・余計な刺激が視野に入らないよう、その場を回避する。 ・トラブルは自分に不利をもたらすこと、暴力はいけなないことを説明する。 (障害により自分の非を棚上げて、相手を攻撃していることを説明)</p>
<p>・生活の枠組みやルールを決め、スケジュール表を作り、その通りに活動することを促す。定期的に通う場所があるとメリハリがつく。</p> <p>・生活リズムの確立は、睡眠と食事など健康維持、再発防止に必要なことを説明。</p>

障害名	
覚醒	覚醒の障害
警戒態勢	
心的エネルギー	
意欲・発動性の低下	社会的行動障害
人格機能の低下	
感情コントロール	
衝動・欲求コントロール	
自己制御の低下	
固執性	
独善的処罰感情	
生活リズムの乱れ	

高次脳機能の概要

こころ：全て経験として残る主観的現象

心像：主観的現象
 在るのではなく、今ここで
 立ち上げられる経験
 その瞬間に生成される

意識（気づき）：
 情知意の集積の中で、
 今ここで必要な部分のみを
 経験する働き

意識の中心（経験の中心）

受容 病識欠如

意思/思考

論理的思考力

・まとめ力 ・多様な発想力

遂行機能・計画性・見通しの悪さ

・段取り・要領の悪さ ・柔軟性がない
 ・判断力の障害 ・行動開始の障害

言語心像 失語

コミュニケーション

対人技能拙劣：

メタメッセージ解読困難 /
 談話障害 / 被影響性の拡大

記憶心像

前向性健忘

/ 逆向性健忘

/ 展望記憶障害

/ 作話/ワーキング

メモリの障害

/ メタ記憶障害

/ 見当識障害

知覚心像/超知覚性心像

情報処理 ・スピード・正確性

失行 / 失認 / 半側空間無視

注意

注意力 / 集中力 / 選択的注意 / 持続的注意 /

注意分配(同時処理) / 注意転換 / 注意容量

感情

社会的行動障害 ①意欲・発動性の低下(無気力症)

②人格機能の低下(依存性・退行) ③自己制御の低下(抑制困難症)

感情コントロール / 衝動・欲求コン

トロール / 独善的処罰感情 / 生活リズムの乱れ

覚醒意識

覚醒・警戒態勢・心的エネルギー

課題と方向性

- 圏域の持続性・拡充について
 - ・ 今後、どこの機関の誰が、このネットワークを牽引していくのか？

- ネットワークの今後の目的
 - ・ 当事者への質的支援の必要性について